2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	柔道整復スポーツ学科		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	講義
科　目　名	臨床柔道整復学・特論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	川村智広・仲村剛 岩村一成・林了大・澤　卓実	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

柔道整復師の臨床に必要な外科学の知識を国家試験対策と併せて履修する。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:100%
2. レポート:　%
3. グループワーク中の態度・発表:　%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

南江堂外科学概論公益社団法人　全国柔道整復学校協会 監修　　炭山嘉伸 編

《授業外における学習方法》

外科学の教科書や国家試験過去問題を基に各自復習をする

《履修に当たっての留意点》

医療界の情報について、常にアンテナを張る柔道整復師になってください！

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる麻酔について理解する	外科学教科書 配布資料	麻酔について
		各コマにおける授業予定	麻酔		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる移植と免疫について理解する	外科学教科書 配布資料	移植と免疫について
		各コマにおける授業予定	移植と免疫		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる出血と止血について理解する	外科学教科書 配布資料	出血と止血について
		各コマにおける授業予定	出血と止血		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる心肺蘇生法について理解する	外科学教科書 配布資料	心肺蘇生法について
		各コマにおける授業予定	心肺蘇生法		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる脳神経外科疾患について理解する	外科学教科書 配布資料	脳神経外科疾患について
		各コマにおける授業予定	脳神経外科疾患①		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる脳神経外科疾患について理解する	外科学教科書 配布資料	脳神経外科疾患について
		各コマにおける授業予定	脳神経外科疾患②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる甲状腺・頸部疾患について理解する	外科学教科書 配布資料	甲状腺・頸部疾患について
		各コマにおける授業予定	甲状腺・頸部疾患		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる胸壁・呼吸器疾患について理解する	外科学教科書 配布資料	胸壁・呼吸器疾患について
		各コマにおける授業予定	胸壁・呼吸器疾患①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる胸壁・呼吸器疾患について理解する	外科学教科書 配布資料	胸壁・呼吸器疾患について
		各コマにおける授業予定	胸壁・呼吸器疾患②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる心臓・脈管疾患について理解する	外科学教科書 配布資料	心臓・脈管疾患について
		各コマにおける授業予定	心臓・脈管疾患①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる心臓・脈管疾患について理解する	外科学教科書 配布資料	心臓・脈管疾患について
		各コマにおける授業予定	心臓・脈管疾患②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる乳腺疾患について理解する	外科学教科書 配布資料	乳腺疾患について
		各コマにおける授業予定	乳腺疾患		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる腹部外科疾患について理解する	外科学教科書 配布資料	腹部外科疾患について
		各コマにおける授業予定	腹部外科疾患①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	柔道整復師が臨床現場で必要となる腹部外科疾患について理解する	外科学教科書 配布資料	腹部外科疾患について
		各コマにおける授業予定	腹部外科疾患②		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	履修範囲の確認を行ない、国家試験同等問題が解けるようになる。	外科学教科書 配布資料	履修範囲の復習
		各コマにおける授業予定	まとめ　確認問題実施　　終了後、解答解説		